

■平成14年度 催物案内

朝鮮王朝の美

2002年4月9日(火曜)から5月19日(日曜)

朝鮮王朝時代の独創的で優れた文化・芸術作品を展覧しながら、当時の生活様式や男女のあり方、精神の拠り所などを重層的に紹介します。その美意識を探るとともに伝統文化の粋にふれる好機となるでしょう。

第56回岐阜県美術展

一般部：6月1日から6月9日

青年部：6月13日から16日

少年部：6月20日から23日

一般部：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・グラフィックデザインの7部門からなる公募展

青年部：絵画・デザイン・彫刻・書道・写真の5部門からなる公募展

少年部：絵画・デザイン、書写の2部門からなる公募展

岐阜・現代の美術 2002

2002年7月2日(火曜)から7月28日(日曜)

前年度にめざましい活躍をした県内在住作家の話題作を、日本画・洋画・彫刻・書・写真・デザインの6部門から選び紹介します。

開館20周年記念ユトリ口展—白から色彩へ—

2002年8月9日(金曜)から9月23日(月曜・祝日)

ユトリ口の約55年の画業は、大きく、「モンマニーの時代」「白の時代」「色彩の時代」に分けられます。この展覧会では、それらの時代への移行期なども視野に入れ、ユトリ口芸術を紹介します。出品作品の半数近くが日本での展覧会初公開となります。

開館20周年記念ルドン展—絶対の探求—

2002年10月8日(火曜)から12月8日(日曜)

岐阜県美術館の作品収集の中核は、240点余りのルドン・コレクションです。この展覧会は、当館所蔵のルドン作品とともに、国内外の美術館などから借用した作品、約160点を紹介します。ルドンの画歴の前半は木炭画や石版画などの「黒」の追求に費やされ、後半は夢見るような鮮やかな「色彩」の世界で展開されました。この展覧会では、黒と色彩におけるルドン芸術の最良の部分を紹介します。

開館 20 周年記念 安藤基金コレクション現代美術展

1997 年 10 月 17 日(金曜)から 12 月 7 日(日曜)

当館には安藤基金を運用する岐阜県美術振興会寄贈のコレクションがあります。現代美術に焦点を当てたそのコレクションは、国内外の 32 作家、300 余点に及びます。開館 20 周年を機会に、その粒よりの作品群を、企画展示室の広いスペースに展示し、当コレクションの現状とその意義を紹介します。
